

平成17年度
EAS機器の市場規模に関する調査
報告書

平成18年5月

日本EAS機器協議会

委託先

社団法人日本リサーチ総合研究所

目 次

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の方法	1
3. 回収結果	2
4. 本報告書をみるにあたって	3
第2章 調査結果	4
1. EAS機器の設置台数	4
2. EAS機器の設置台数（店舗別設置台数とその割合）	5
(1) 店舗別設置台数	5
(2) 店舗別割合	8
3. EAS機器の設置台数（ステッカー貼付台数とその割合）	9
4. EAS機器の設置台数（動作方式別設置台数とその割合）	10
(1) 動作方式別設置台数	10
(2) 動作方式別割合	11
5. EASタグの出荷数量	12
6. EASタグの出荷数量（種類別出荷数量とその割合）	13
(1) 種類別出荷数量	13
(2) 種類別割合	14
7. EAS機器の出荷金額	15
[資料]	16
参考図1 EAS機器の設置台数（全体・店舗別）	17
参考図2 EAS機器の設置台数（全体・動作方式別）	17
参考図3 EASタグの設出荷数量（全体・種類別）	18
調査票	19

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、EAS（Electronic Article Surveillance：電子商品監視）機器の市場規模を把握し、今後のEASシステム・機器の普及促進のための基礎資料に資することを目的とする。

2. 調査の方法

日本EAS機器協議会の会員企業（23社）、及びEAS機器を製造・販売している非会員企業（3社）、あわせて26社に対して、アンケート調査（「EAS機器の市場規模に関するアンケート」）を実施した。

アンケート調査の概要及び調査項目は、下表で示したとおりである。

<アンケート調査の概要>

○調査対象	日本EAS機器協議会の会員企業（23社） EAS機器を製造・販売している非会員企業（3社）
○調査対象数	上記の26社
○調査方法	郵送調査
○調査期間	平成18年4月7日～5月8日

<設問項目>

- 問1 EAS機器の設置台数
- 問2 (1) EAS機器の設置台数（店舗別割合）
(2) EAS機器の設置台数（ステッカー貼付台数の割合）
- 問3 EAS機器の設置台数（動作方式別割合）
- 問4 (1) EASタグの出荷数量
(2) EASタグの出荷数量（種類別割合）
- 問5 EAS機器の出荷金額
- 問6 日本EAS機器協議会に対する要望・意見

（※詳細については巻末資料の「調査票」をご参照ください。）

3. 回収結果

回答企業数：22社 回収率：84.6%

<回答状況>

NO	企業名	回答の有無
1	松尾産業株式会社	○
2	住友スリーエム株式会社	○
3	シグマ株式会社	—
4	株式会社チェックポイントシステムジャパン	○
5	株式会社エスキューブ	○
6	アイデックコントロールズ株式会社	○
7	株式会社ジーネット	○
8	株式会社三宅	○
9	株式会社テクノ・エンジニアリング	—
10	西武産業株式会社	○
11	株式会社サンモニター	○
12	リンテック株式会社	○
13	ユニパルス株式会社	○
14	ユニチカ株式会社	○
15	アクチャーニ株式会社	○
16	エム・ケー・パビック株式会社	○
17	株式会社コージン	—
18	株式会社トスカ	○
19	チェスコムアドバンス株式会社	○
20	ネットセキュリティー有限公司	○
21	グンゼ株式会社	○
22	タカヤ株式会社	○
23	高千穂交易株式会社	○
24	保安電子株式会社	—
25	株式会社ジャストコーポレーション	○
26	スキャンマチック販売株式会社	○

4. 本報告書をみるにあたって

(1) 本報告書におけるEAS機器の設置台数

本報告書におけるEAS機器の設置台数は、メーカーまたは（海外製品の）マスターディストリビューターのエンドユーザーへの設置台数としている。

また、天井式、マット式、ゲート式とも、ゲート（アンテナ）1機につき1台とカウントしている。（例えばゲート式の場合は、設置個所（出入り口）が1箇所でもゲートが2本の場合は2台、3本の場合は3台、4本の場合は4台とカウントする。）

(2) 本報告書における各数値

本報告書における各数値は、年度をベースとした決算期における数字である。そのため、各社で、会計年度の始期及び終期が異なる場合があるので、必ずしも同時期における数値の集計ではない。（例えば3月決算の会社は2005年4月～2006年3月の数字、12月決算の会社は2005年1月～12月の数字となっている。）

なお、あくまで各数値は各社からの数値をそのまま集計したものである。

(3) EAS機器の設置台数（ステッカー貼付台数とその割合）の公開について

本報告書の「3. EAS機器の設置台数（ステッカー貼付台数とその割合）」は、当初会員外（ステッカー貼付しない）の数字を分母に含むため参考データ扱いの予定であったが、ステッカー貼付の重要性の高まりもあり今回公開することとした。

(4) アンケート調査における図表の見方

本報告書では、アンケート結果を図表で示しているが、図表をみるにあたり、以下の点にご留意ください。

- ◆図表における各数字は、アンケートにご回答頂いた企業（22社）についての集計である。ただし、そのうちの2社については「該当なし」ということで、集計には含まれていない。
- ◆設問によっては、「資料なし」などの理由で無回答の場合があるので、その分は集計に含まれていない。
- ◆作図・表の都合上、設問や解答の選択肢を省略している場合があるので、巻末の「調査票」をご参照ください。

第2章 調査結果

1. E A S 機器の設置台数

(図表 1 参照)

<2005 年度の状況>

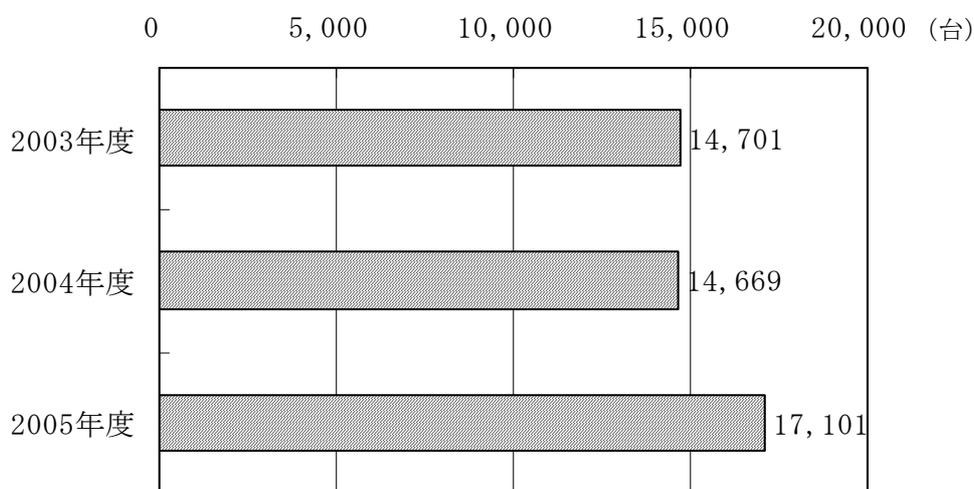
○E A S 機器の設置台数は、2005 年度で 17,101 台である。

<2003 年度からの推移>

○2003 年度 (14,701 台)、2004 年度 (14,669 台) はほぼ横ばいであったが、2005 年度は 2004 年度と比べて約 2,400 台の増加がみられた。

○伸び率でみると、2004 年度は 0.2%の減少、2005 年度は 16.6%の増加である。

図表 1 E A S 機器の設置台数



<設置台数及び伸び率>

	2003 年度	2004 年度	2005 年度
設置台数 (台)	14,701	14,669	17,101
伸び率※ (%)	-	△0.2	16.6

※伸び率 = (当年度設置台数 ÷ 前年度設置台数 - 1) × 100

2. E A S 機器の設置台数（店舗別設置台数とその割合）

（1）店舗別設置台数

（図表 2 参照）

<2005 年度の状況>

- 「その他」の 5,535 店を除けば、「A V ・メディアソフト店」が 2,435 台、「ドラッグストア」が 2,367 台、「家電量販店」が 2,220 台であり、これらの店への設置が多くみられる。
- 次いで「衣料品、ブランドショップ」の 1,639 台、「ホームセンター」の 1,573 台などが続いている。

<2003 年度からの推移>

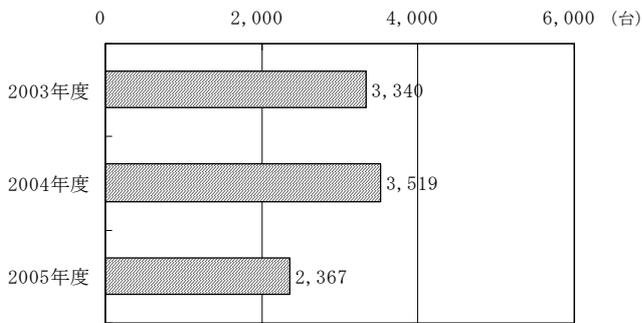
- 「ドラッグストア」は 2004 年度から 2005 年度にかけて大きく減少した一方、「その他」は大きく増加している。
- 「A V ・メディアソフト店」、「家電量販店」は順調に増加している。
- 「まんが喫茶、ネットカフェ」、「図書館、資料室」は増加傾向にある。

注：アンケートで用いた店舗の分類は下記のとおりである。

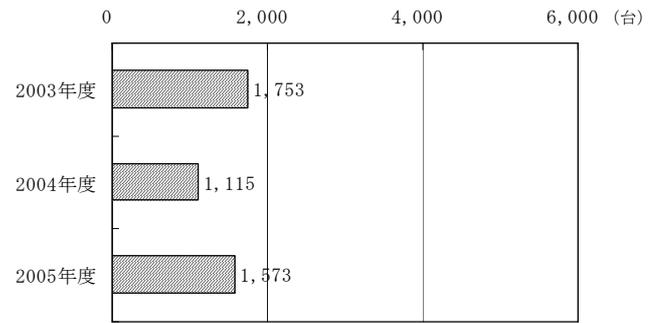
- | | |
|----------------|-----------------------------------|
| ①ドラッグストア | ⑥家電量販店
(カメラ・パソコンショップを含む) |
| ②ホームセンター | ⑦まんが喫茶、ネットカフェ |
| ③衣料品、ブランドショップ | ⑧カー用品店 |
| ④スポーツ用品店 | ⑨図書館、資料室 |
| ⑤A V ・メディアソフト店 | ⑩その他
書店、スーパー、コンビニ、
酒屋、宝飾店など |

図表2 EAS機器の設置台数（店舗別設置台数）

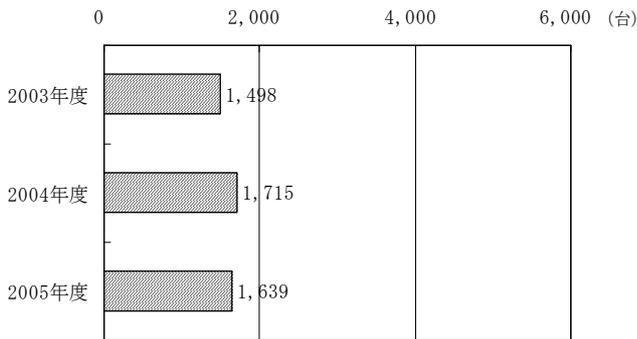
①ドラッグストア



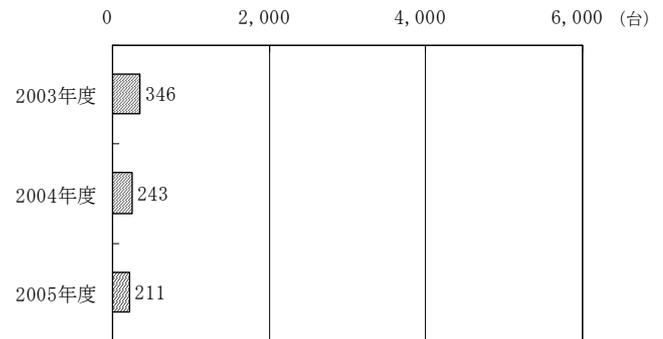
②ホームセンター※



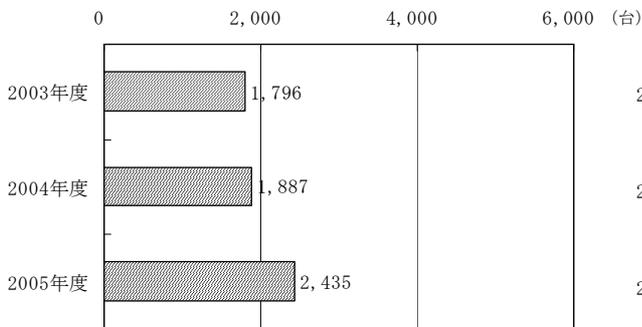
③衣料品、ブランドショップ



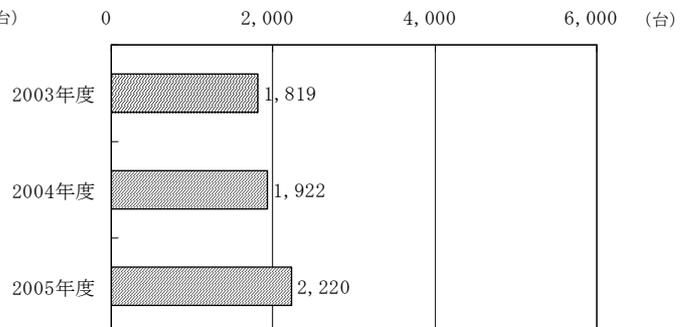
④スポーツ用品店※



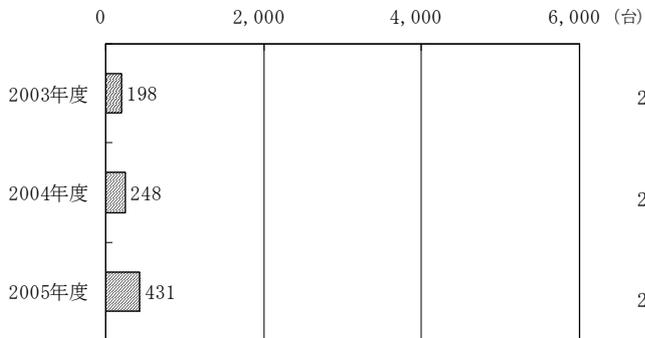
⑤AV・メディアソフト店



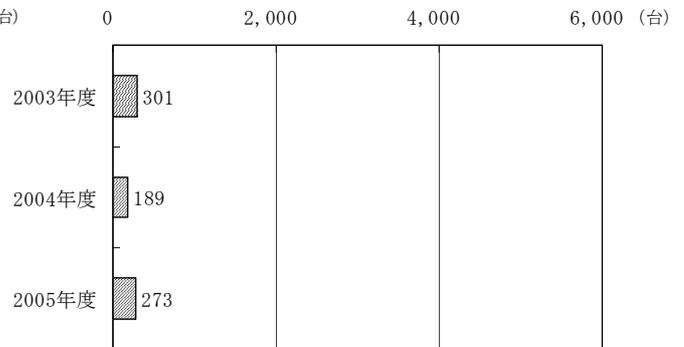
⑥家電量販店（カメラ・パソコンショップを含む）



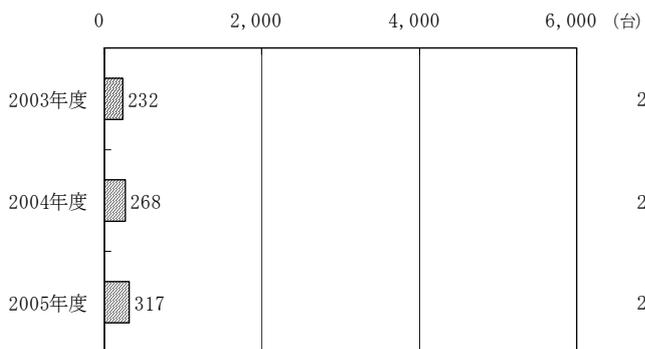
⑦まんが喫茶、ネットカフェ



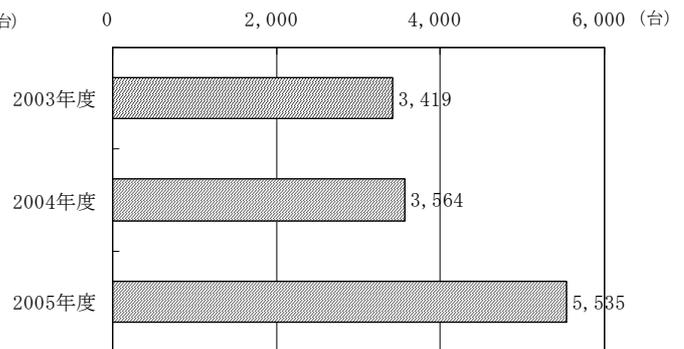
⑧カー用品店※



⑨図書館、資料室



⑩その他



※ホームセンターのなかに、スポーツ用品、カー用品を含めている企業がある。

(2) 店舗別割合

(図表3参照)

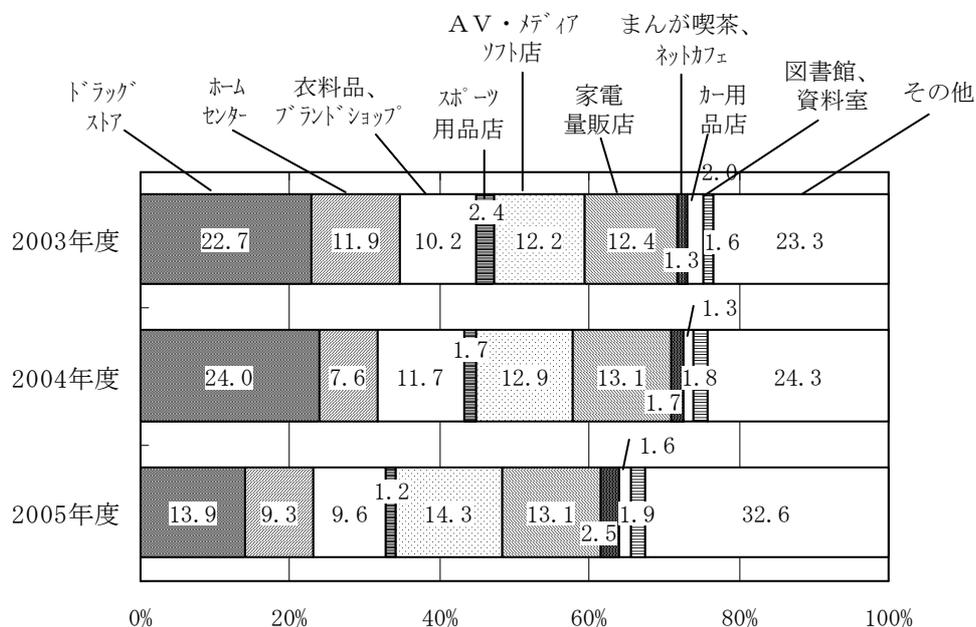
<2005年度の状況>

- 「その他」の32.6%に次いで、「AV・メディアソフト店」(14.3%)、「家電量販店」(13.1%)、「ドラッグストア」(13.9%)が1割を超えて多い。
- 次いで「衣料品、ブランドショップ」が9.6%、「ホームセンター」が9.3%を占める。

<2003年度からの推移>

- 「ドラッグストア」は2004年度の24.0%と比べて、2005年度は10ポイントほど低下している。逆に「その他」の割合は、2004年度の24.3%から、2005年度は32.6%と8ポイントほど増加しているのが、大きな特徴となっている。
- そのほか、「AV・メディアソフト店」は緩やかな増加傾向である。「家電量販店」は設置台数が増加しているが、構成比では横ばい傾向を示している。

図表3 EAS機器の設置台数(店舗別割合)



注:「その他」で多くあげられたのは、書店(8社)、スーパー(5社)、コンビニ(3社)、酒屋(3社)などである。

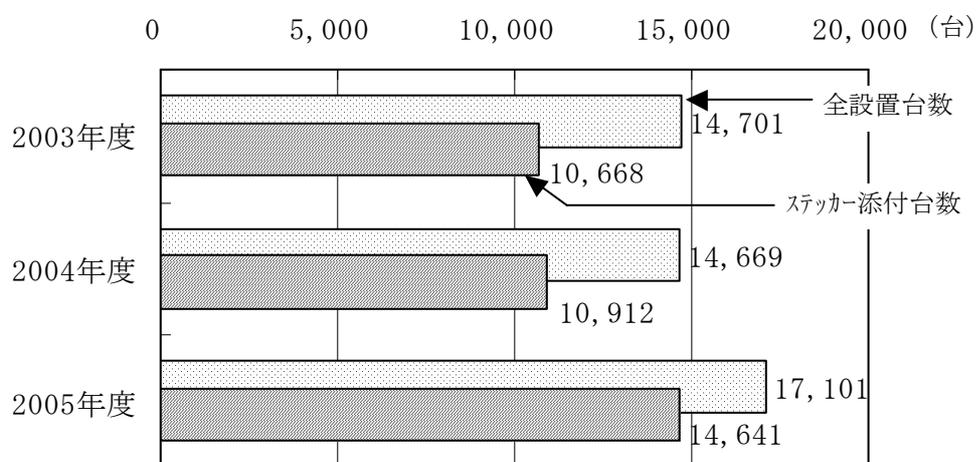
3. E A S 機器の設置台数（ステッカー貼付台数とその割合）

（図表 4 参照）

<2005 年度の状況>
 ○ステッカーが添付されている E A S 機器の設置台数は 14,641 台で、全設置台数の 85.6% を占める。

<2003 年度からの推移>
 ○2003 年度が 10,668 台、2004 年度が 10,912 台であり、2005 年度は 2004 年度と比べて約 3,700 台増加した。
 ○この結果、ステッカーが添付されている E A S 機器の設置台数の割合は、72.6%（2003 年度）→74.4%（2004 年度）→85.6%（2005 年度）と、大きな増加がみられた。

図表 4 ステッカーが添付されている E A S 機器の設置台数とその割合



	2003 年度	2004 年度	2005 年度
ステッカー添付台数 (台)	10,668	10,912	14,641
全設置台数 (台)	14,701	14,669	17,101
ステッカー添付台数の 全設置台数に占める割合 (%)	72.6	74.4	85.6

4. E A S 機器の設置台数（動作方式別設置台数とその割合）

（1）動作方式別設置台数

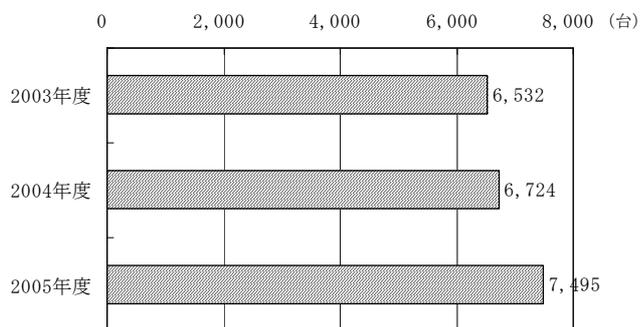
（図表 5 参照）

<2005 年度の状況>
 ○ E A S 機器の設置台数を動作方式別にみると、「R F 方式」が 7,495 台、「A M 方式」が 7,204 台であり、この 2 つの方式でほとんどを占める。

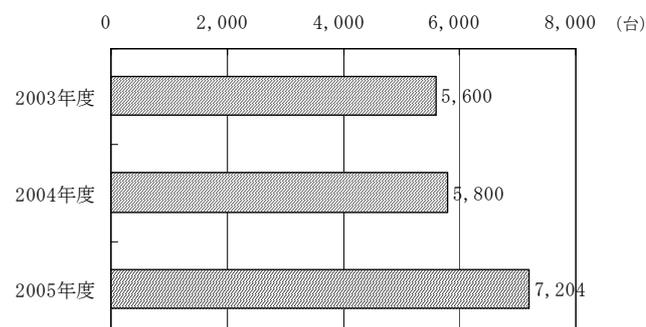
<2003 年度からの推移>
 ○ 「R F 方式」、「A M 方式」とともに増加傾向を示している。

図表 5 E A S 機器の設置台数（動作方式別設置台数）

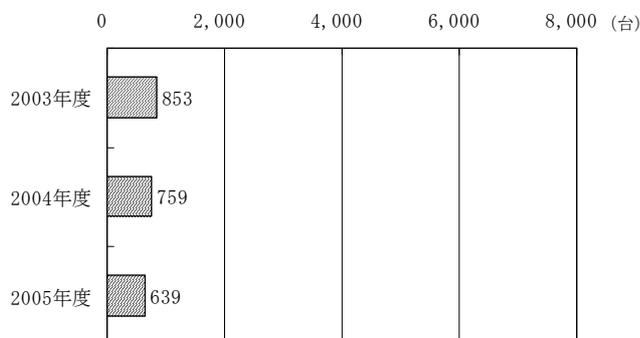
① R F 方式



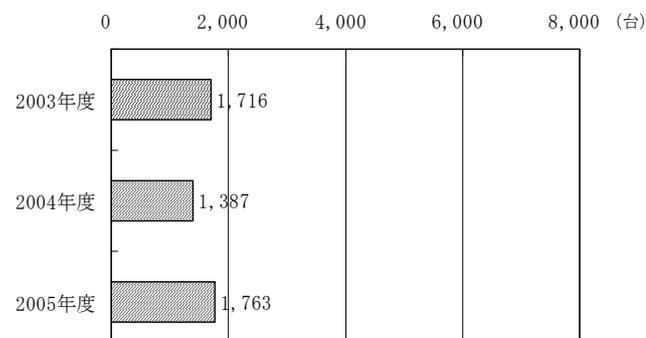
② A M 方式



③ E M 方式



④ 自鳴方式



(2) 動作方式別割合

(図表6参照)

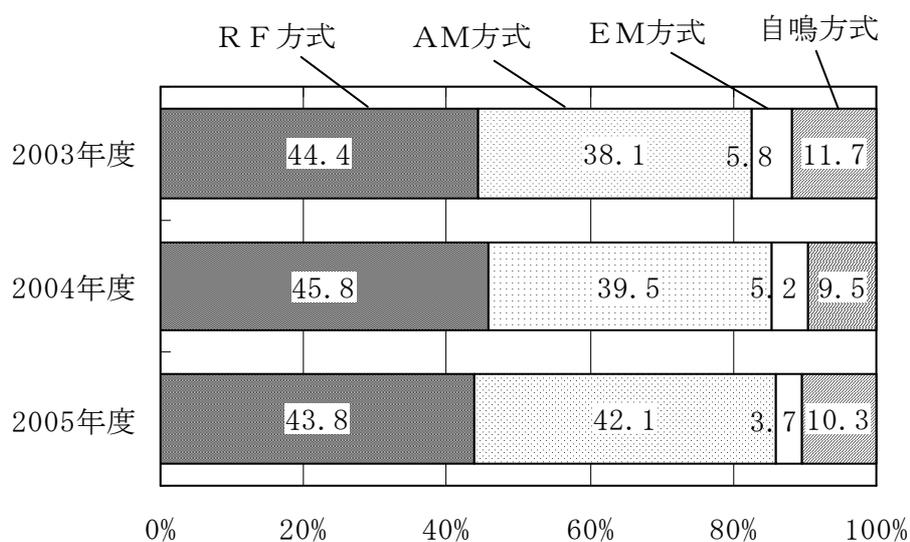
<2005年度の状況>

○EAS機器の設置台数を動作方式別にその割合をみると、「RF方式」(43.8%)と「AM方式」(42.1%)がそれぞれ4割を超え、両方式で全体の約85%を占めている。

<2003年度からの推移>

○「RF方式」は設置台数では増加しているが、全体に占める割合はやや減少傾向にある。「AM方式」は順調に増加傾向を示している。

図表6 EAS機器の設置台数(動作方式別割合)



5. E A S タグの出荷数量

(図表 7 参照)

<2005 年度の状況>

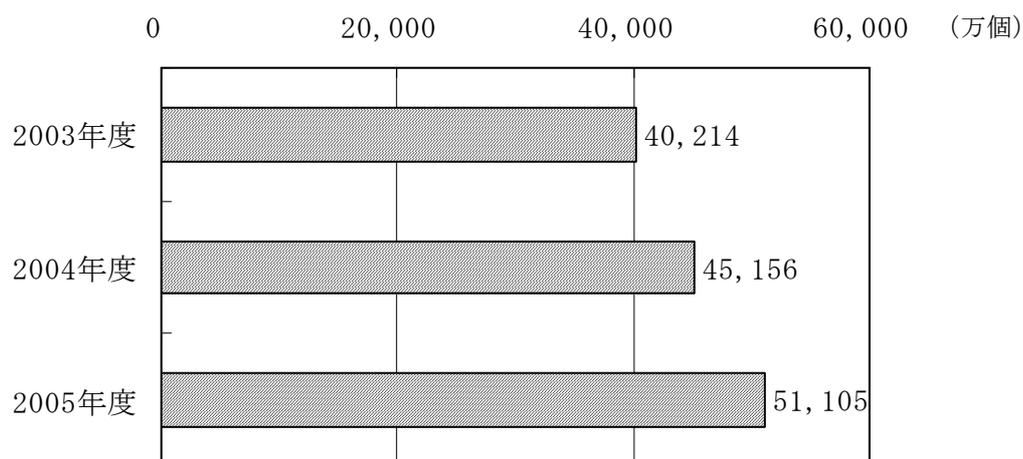
○E A S タグの出荷数量は、2005 年度で 5 億 1,105 万個である。

<2003 年度からの推移>

○2003 年度から 2004 年度にかけて約 5,000 万個、2004 年度から 2005 年度にかけて約 6,000 万個増加している。

○伸び率でみると、2004 年度は 12.3%、2005 年度は 13.2%の増加であり、順調な増加がみられている。

図表 7 E A S タグの出荷数量



<E A S タグの出荷数量及び伸び率>

	2003 年度	2004 年度	2005 年度
出荷数量 (万円)	40,214	45,156	51,105
伸び率※ (%)	-	12.3	13.2

※伸び率 = (当年度出荷数量 ÷ 前年度出荷数量 - 1) × 100

6. EASタグの出荷数量（種類別出荷数量とその割合）

（1）種類別出荷数量

（図表8参照）

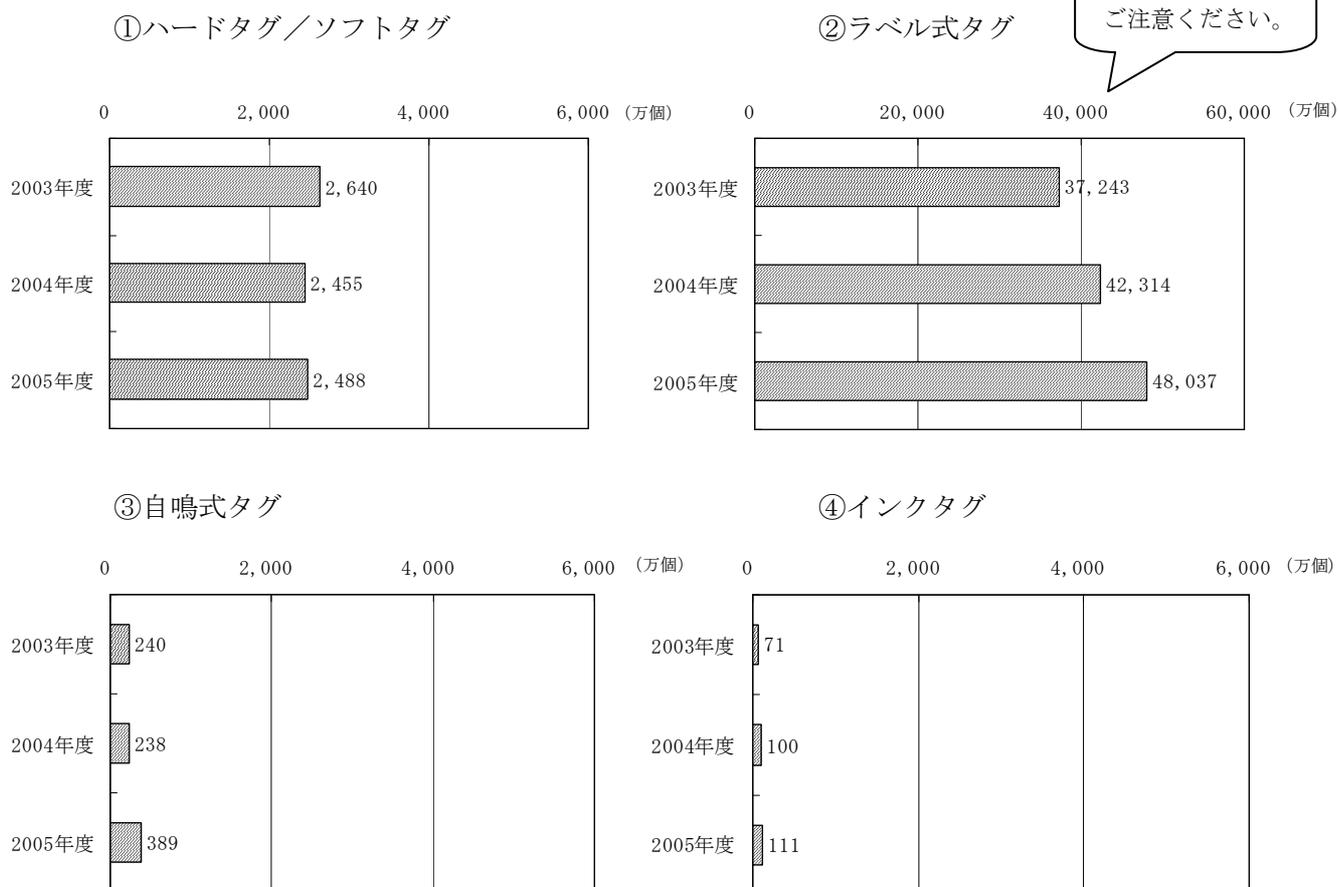
<2005年度の状況>

○EASタグの出荷数量を種類別にみると、「ラベル式タグ」が4億8,037万個と多くを占めている。次いで「ハードタグ/ソフトタグ」が2,488万個で、「自鳴式タグ」(389万個)と「インクタグ」(111万個)は少ない。

<2003年度からの推移>

○「ラベル式タグ」と「インクタグ」は増加傾向にある。

図表8 EASタグの出荷数量（種類別出荷数量）



注：①～④以外に「その他」があるが、数が少ないのでここでは図表化していない。

（巻末資料の参考図3を参照）

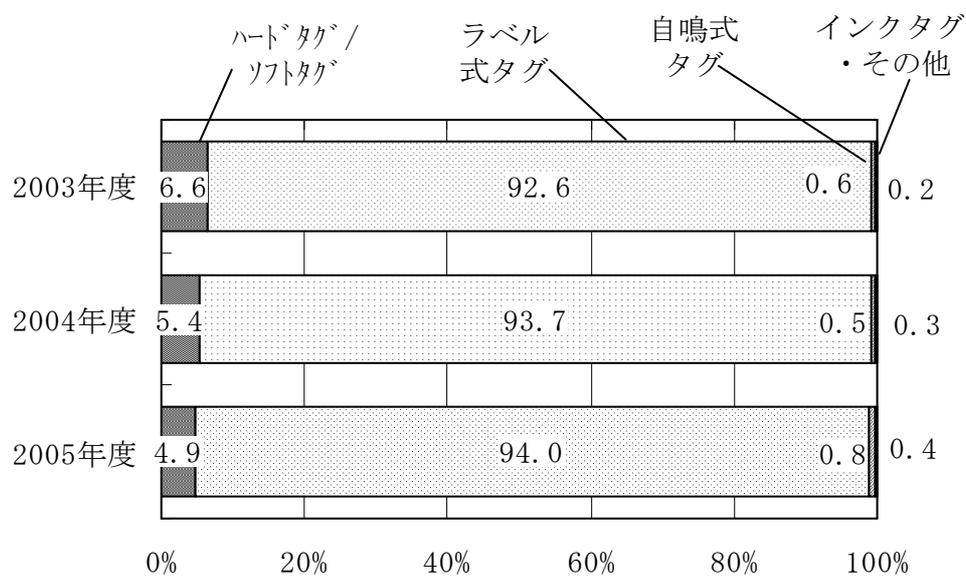
(2) 種類別割合

(図表9参照)

<2005年度の状況>
 ○EASタグを種類別にその割合をみると、「ラベル式タグ」が94.0%と9割を超え、残りは、「ソフトタグ/ハードタグ」が4.9%、「自鳴式タグ」が0.8%、「インクタグ・その他」が0.4%である。

<2003年度からの推移>
 ○「ラベル式タグ」は増加傾向である一方、「ハードタグ/ソフトタグ」は減少傾向となっている。

図表9 EASタグの出荷数量（種類別割合）



7. E A S 機器の出荷金額

(図表 1 0 参照)

<2005 年度の状況>

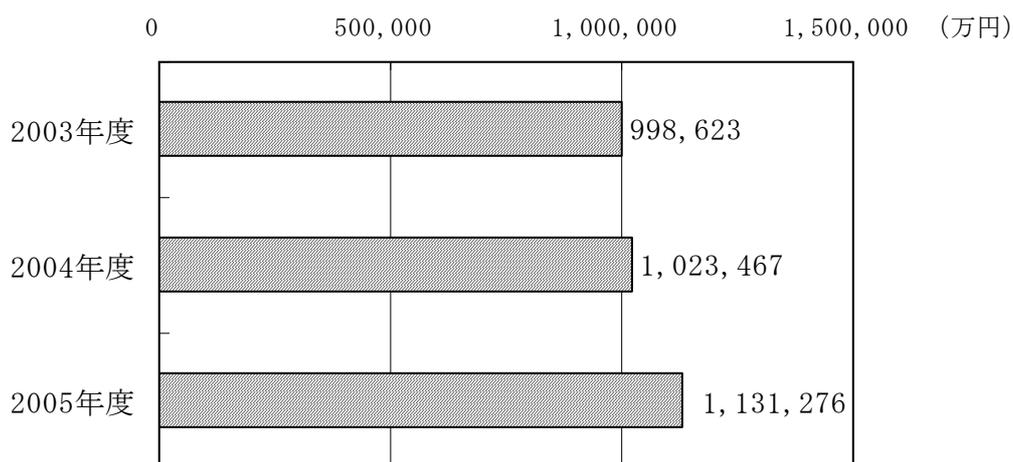
○E A S 機器の出荷金額は、2005 年度で 113 億 1,276 万円である。

<2003 年度からの推移>

○2003 年度は 99 億 8,623 万円、2004 年度は 102 億 3,467 万円であり、2005 年度は 2004 年度と比べて約 10 億 8,000 万円増加している。

○伸び率では、2004 年度が 2.5%、2005 年度が 10.5%と順調に増加している。

図表 1 0 E A S 機器の出荷金額



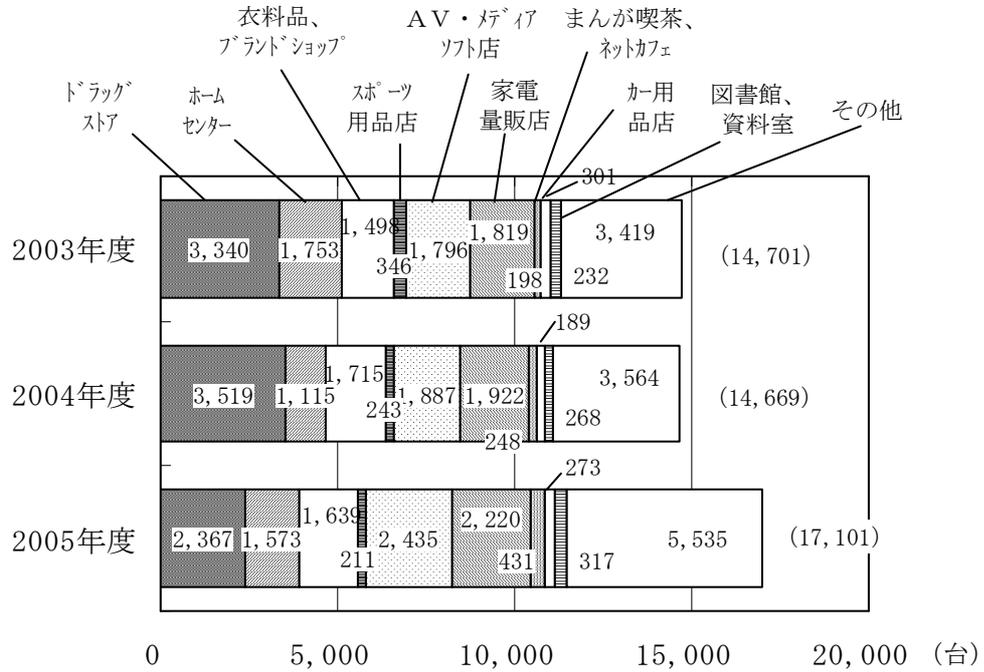
< E A S 機器の出荷金額及び伸び率 >

	2003 年度	2004 年度	2005 年度
出荷金額 (万円)	998,623	1,023,467	1,131,276
伸び率※ (%)	-	2.5	10.5

※伸び率 = (当年度出荷金額 ÷ 前年度出荷金額 - 1) × 100

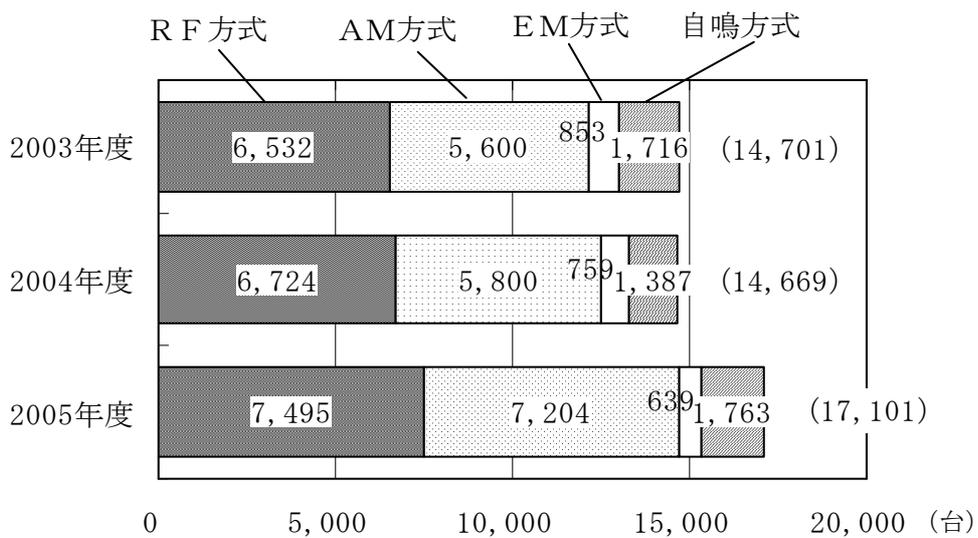
[資 料]

参考図1 EAS機器の設置台数（全体・店舗別）



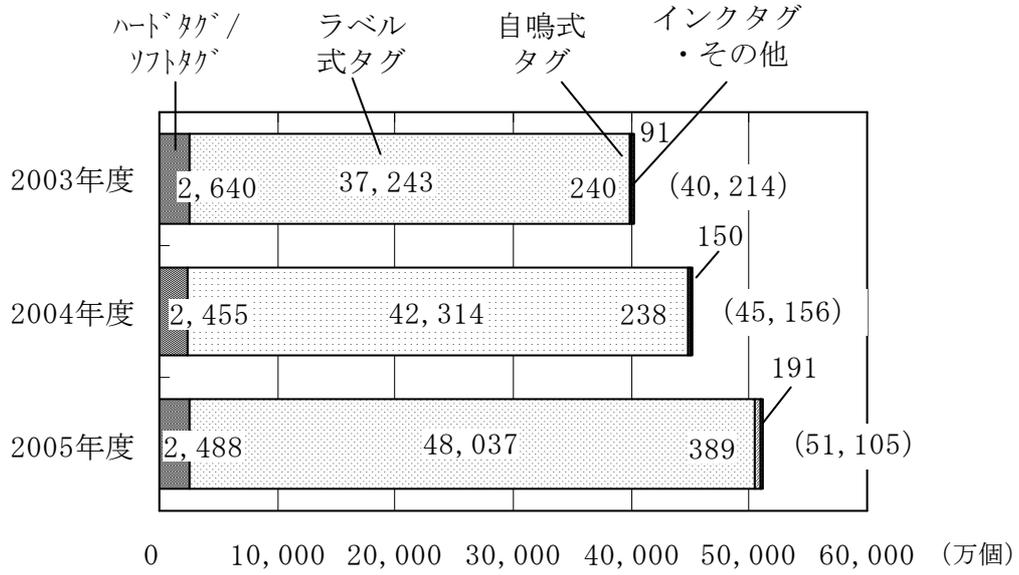
注：（ ）内の数値は全体の設置台数。

参考図2 EAS機器の設置台数（全体・動作方式別）



注：（ ）内の数値は全体の設置台数。

参考図3 EASタグの出荷数量（全体・種類別）



注：（ ）内の数値は全体の出荷数量。